

今回のテーマは…
家族・子育て

子育てしやすい環境づくりを 社会全体で考えましょう！

いわて
県民計画
(2019~2028)

PICKUP

みんなで目指す岩手の将来像のための「いわて県民計画(2019~2028)」。10の政策分野から、今回は「家族・子育て」をピックアップ！ 社会全体で子育てを応援する取り組みを紹介します。



地域・職場・家庭がつながり、 安心して産み育てられる地域社会を

子どもは、未来の社会を担う大切な存在。だからこそ、地域・職場など社会全体で考え、支えていくことが必要です。たとえば、せっかく子育て支援サービスがあっても、職場環境が整っていないければサービスを活用できません。安心して子どもを産み育てられる地域社会の実現に向けた取り組みを見ていきましょう。

取り組み 1

子育てに協力的な企業を応援！ いわて子育てにやさしい企業等認証・表彰制度

県は、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりを進める企業を認証しています。これまで認証を受けたのは、延べ176社(10月末現在)。

認証を受けた企業は、育児休業の拡充など仕事と子育ての両立に向けた先進的な取り組みを行っていて、中には、子どもの学校行事のための休暇や1時間単位の休暇を取れる企業も。認証は、働きやすい企業を知るための一つの目安にもなりますね。



かさい農産のスタッフは20代~80代。全員が子育てと仕事の両立がしやすいようにと、お孫さんのために使える休暇もあります。

子育ても仕事も 全力投球！ 「かさい農産」の挑戦

認証を受けて4年目の有限会社かさい農産は、一関市で野菜の生産・加工を行う農業法人。「家庭も仕事も犠牲にしないやり方はないかと常に考え、一つずつ実行してきました」と取締役管理部長の小野寺さんは語ります。休暇制度の充実はもちろん、子どもによる職場見学を行うことで、親の仕事について理解を深めてもらう工夫も。さらに、一人一人の事情に応じた柔軟な働き方ができるよう、全員で支える体制づくりも進めています。



取り組み 2

いわて子育て応援の店

「いわて子育て応援の店」とは、子育て家庭を地域の企業やお店が応援する制度。2007年のスタート以来、県内の2,000を超える店舗・企業が登録しています。割引や特典がある「にこにこ店」と、授乳やおむつ替えスペースなど、お出かけに配慮した「ほのぼの店」があり、店頭などに貼られたシンボルマーク入りのステッカーが目印です。

協賛店舗の情報は、県のホームページで見ることができます。



いわて子育て応援の店

検索

取り組み 3

岩手県子育て応援パスポート

県営スケート場、いわて子どもの森など県営施設の利用料金が減免される「岩手県子育て応援パスポート」。対象は、3人以上の子どもを育てている家庭で、最年少の子が小学校修了前であることが条件。減免内容は施設によって異なり、例えば、岩手県立美術館の場合、企画展の料金が半額、常設展は無料です。パスポートの申請は子ども子育て支援室へ、郵送またはインターネットで。

■問い合わせ/県庁子ども子育て支援室
電話019(629)5461

岩手県子育て応援パスポート

検索